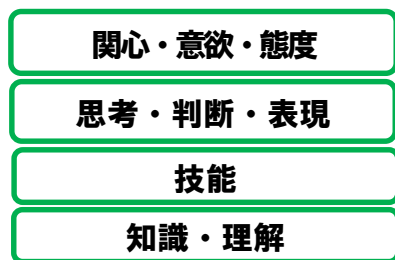


学習評価について（総合的な探究の時間）

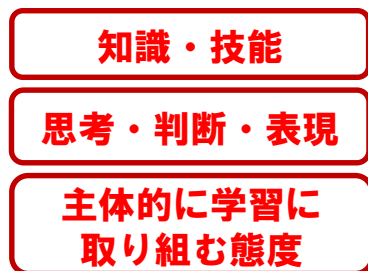
観点別学習状況の評価の観点の整理

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。

<現行>



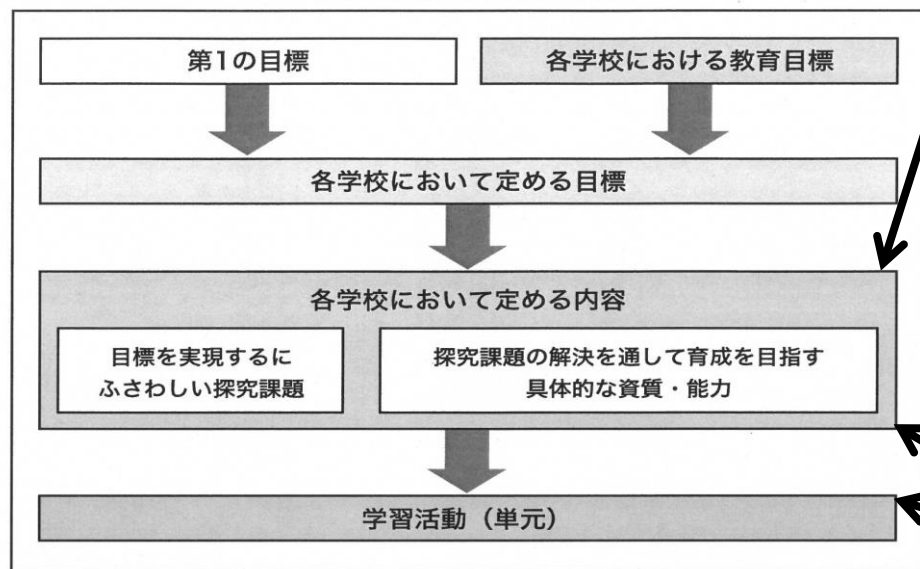
<新>



現行の4観点で評価していた指導事項が3観点到整理されました

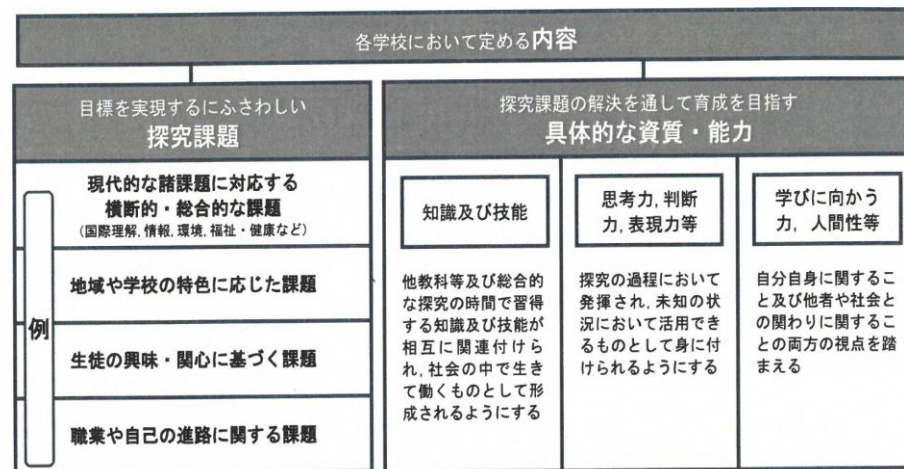
総合的な探究の時間の目標・内容・学習活動の関係

〈目標と内容と学習活動の関係〉



「総合的な探究の時間」は、他の教科・科目等のように、どの学年で何を指導するのかという内容が学習指導要領に明示されていません。したがって、内容は「学校ごとに定める」ことになります

各学校において定める内容は、目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の2つからなります

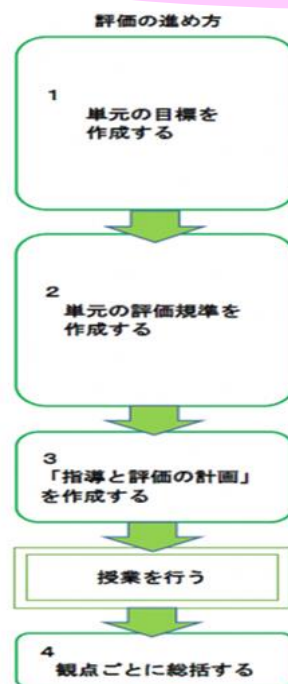


評価の観点と趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

学習評価は、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成し、それをもとに単元全体を見通し「単元の評価規準」を作成して行います。

指導と評価の計画 例



総合的な探究の時間 事例1
キーワード 指導と評価の計画, 三つの観点の評価, 評価結果の総括, 指導計画の評価・改善

単元名
町民の健康寿命を延ばすために
～地域住民と共に取り組めること～
(第3学年)

内容のまとめ
「福祉」「健康」(全35時間)

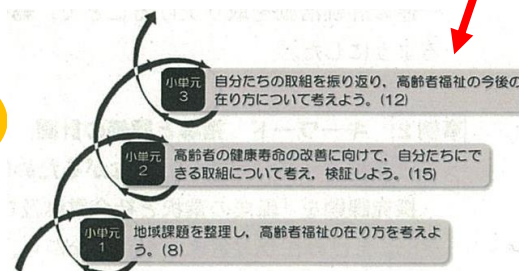
《授業例》
探究課題

「町民の健康に関する問題と、健康寿命の改善に向けた具体的な取組」

1 単元の目標

町民の健康や福祉を向上するための活動を通して、わが町の福祉は様々な人や組織が関わり合って成り立っていることや、持続可能な取組を創造していくことの意義や価値について理解するとともに、健康寿命を延ばすための方策を科学的根拠に基づいて考察し、自他を尊重する精神をもちながら様々な世代が健康に暮らす社会を共に実現しようと行動できるようにする

「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を盛り込んだ目標になっている



2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①町民の健康や福祉の向上のために様々な人や組織が関わり合っていること、高齢者も活躍できる社会の実現に向けては持続可能な取組を共に創造していくことが大切であることを理解している。	①町民が抱える健康上の問題点について、自己の関心をもとに研究内容を設定し、検証方法を考え研究計画書を作成している。	①町民の健康の実態に関して、他者の研究内容との関係で自らが設定した研究内容の特徴を捉え、向き合おうとしている。
	②考案した取組の効果に関する実地調査を、相手や研究内容に応じた適切さで正確に実施している。	②町民の健康の現状を捉えるために、自己の研究内容に応じて、手段を選択し情報を収集したり蓄積したりしている。	②行政や医療職、介護施設職員等と協働して町民の健康寿命の向上に取り組もうとしている。
	③町民の健康や福祉に対する認識の高まりは、健康寿命の改善に向けた創造的な取組について探究してきたことの成果であることに気付いている。	③統計や先行研究、町民を対象にした調査結果をもとに、自分たちができる高齢者の健康寿命促進の取組を検討し、実施効果に着目して、取組内容を決めている。	③町民の健康や福祉の維持発展に向け、持続可能な自己の取組を明らかにして将来社会の実現に貢献しようとしている。
		④町民の健康や福祉の今後の在り方について、自己の取組を振り返り、学習や生活に生かしている。	

3 指導と評価の計画【指導計画(全35時間)】

複数の評価資料をもとに評価する
とよい

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 地域課題を整理し、高齢者福祉の在り方について考えよう。(8)	・地域の健康や福祉に対する問題点について自らの認識を出し合い、過疎化、高齢化と深く関連していることを確認する。 ・高齢者の健康や福祉に焦点を絞って研究内容を設定し、課題の解決に向けた今後の活動への見通しや検証方法を考える。		①		・発言 ・研究計画書 ・研究日報
2 高齢者の健康寿命の改善に向けて、自分たちができる取組について考え、検証しよう。(15)	・自己の研究内容に照らして必要な情報を収集し、分析した結果を研究内容報告会で交流し合う。 ・研究内容報告会から、町民の健康寿命の現状に関する課題意識を高め、研究計画書を更新する。		②	①	・研究内容報告会における発表や発言 ・研究計画書
3 自分たちの取組を振り返り、高齢者福祉の今後の在り方について考えよう。(12)	・先行研究やアンケート調査等を踏まえて、町民の健康寿命に関する現状の分析を行い、実施可能な方策について検討する。 ・行政や医療職等と連携・協働した高齢者向け健康教室を実施するとともに、自分たちが考案した取組の検証や改善を行う。		③		・健康寿命改善計画書 ・データ分析資料 ・研究日報
	・研究内容への取組をまとめ、得られた成果や効果についての研究発表会を企画・実施する。	②	②		・行動観察や発言 ・データ分析資料 ・研究日報
	・自己の研究内容に関する結論や考察について研究集録にまとめる。	③	④		・研究発表会における発表や質疑応答 ・研究日報
		①		③	・研究集録

丸数字は左記の「2 単元の評価規準」に一致

4 観点別学習状況の評価の総括

《生徒指導要録への記述》

「総合的な探究の時間の記録については、この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述すること」とされている。記述に当たっては、単なる活動のみにとどまることがないように留意する必要がある。

《例》

学習活動	観点	評価
3学年 町民の健康寿命を延ばすために	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	高齢者とともに取り組むトレーニングでは、各種の統計調査や先行研究などから、健康寿命を延ばす効果と安全を理解し、科学的な根拠を持ったトレーニングの内容と方法を考えた。持続可能な自己の取組を明らかにして、今後も高齢者の健康寿命を延ばすために貢献しようとしている。

このような評価の根拠となった評価場面や評価資料については、「参考資料」p53～p58を参照